

本年度の重点目標

- ・ 人格を陶冶し、自立と共生の精神を培い、社会に貢献できる人材を育成する。
- ・ 人間性の育成と学力向上との調和のとれた教育を推進する。文武両道を生かし、自己実現を目指す進路指導を推進する。自立・自律の心や思いやる心を育む教育を展開する。地域に根ざした学校作りを推進する。
- ・ 「教科学習」「部活動」「学校行事」をバランスよく展開する。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	・ 特色ある学校づくりに努めるとともに、生徒が協働することを通して活気ある学校づくりを推進している。	B	B	A
	・ 学年・分掌・教科目標を設定し、改善を積み重ねて信頼される学校づくりを推進している。	B	B	B
2 学習指導	・ 学習意欲を向上させるために、生徒がしっかり考える授業を実施するなど指導内容や指導方法の工夫・改善に努めている。	B	A	A
	・ シラバスや授業アンケート等を生かし、生徒の学習習慣の確立や学力の向上に努めている。	B	B	B
3 生徒指導	・ 規律ある生活習慣確立と規範意識の高揚を目指し、きめ細かな指導に努めている。	A	A	A
	・ さわやかで礼儀正しい挨拶・その場にふさわしい態度の育成を図っている。	A	A	A
	・ いじめの未然防止や早期発見・早期対応に努め、生徒が安心できる環境づくりに努めている。	A	A	A
4 進路指導	・ 早期からの系統的なガイダンス機能の充実に努め、高い目標に向かうチャレンジ精神を育てている。	B	B	B
	・ 進路選択に必要な情報収集を行い、きめ細かに生徒に提供している。	B	B	B
5 特別活動等	・ 学校行事や生徒会行事等に生徒が主体的に取り組めるよう工夫している。	A	A	A
	・ 部活動の活性化を積極的に図り、技術の向上や人間性の育成に努めている。	A	A	A
6 学校図書館	・ 朝読書の実施や図書館だよりの発行により、読書の楽しさや意義を伝える工夫をしている。	B	B	B
	・ 利用者の実態や学習に役立つ図書を整備と充実に努めている。	A	A	A
7 保健・安全指導	・ 保健室と連携し、健康指導や病気・けがの対応を適切に行っている。	A	A	A
	・ 教育相談・特別支援教育の体制を確立し、早期に組織的な対応を図っている。	A	A	A
	・ 危機管理意識を高め、通学途上や校内での安全確保に努めている。	B	A	A
8 人権教育	・ 生徒の人権を尊重する視点を全ての教育活動の中に取り入れている。	A	A	A
	・ 一人ひとりが尊重され、明るく生き生きとしたクラスや学校づくりに努めている。	A	A	A
9 環境教育	・ ゴミの減量化等環境に配慮した取り組みをしている。	B	B	B
	・ 教科学習や学校行事において、環境学習に取り組んでいる。	B	B	B
10 事務・管理	・ 施設・設備・備品等の点検を行い、適切に管理している。	B	A	A
	・ 個人情報の取扱い、保管を適切に行っている。	A	A	A
11 その他 学校の取り組み	・ 教職員は、通信やHPなど学校の教育活動を積極的に情報発信している。	B	B	B
	・ 地域に根ざした教育活動と情報発信等、開かれた学校づくりに努めている。	B	B	B

(注) ・ 評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表

10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価)A B C Dの4段階評価で示す。

3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価)A B C Dの4段階で示す。

・ 自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・ A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。

## 令和4年度 学校評価アンケート（生徒）

1：ほぼ当てはまる 2：やや当てはまる 3：どちらかという当てはまらない  
4：ほとんど当てはまらない

領域	番号	評価項目	1・2の割合
全体に関わって	1	この学校に入学してよかった。	88%
	2	目標を持って学校生活を送っている。	77%
1 学習指導	3	毎時間の授業はわかりやすく充実している。	80%
	4	予習・復習等自宅での学習をしっかりとっている。	47%
	5	先生は、生徒がよく理解できるよう工夫を凝らし熱心に指導している。	85%
	6	学校は、学習習慣が身につく指導を行っている。	80%
2 生徒指導	7	学校は、遅刻、服装、頭髪等の生活指導を熱心に行っている。	97%
	8	気持ちの良い挨拶や態度などマナーをわきまえた行動をしている。	97%
	9	学校のスマホ・携帯の使用ルールを守っている。	99%
	10	学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	93%
3 進路指導	11	学校は、進路について考える時間を設定し、進路指導を丁寧に行っている。	95%
	12	学校は、進路に関する十分な資料や情報の提供ができています。	93%
	13	高い目標を持ち、その実現に向けて努力しながら、高校生活を送っている。	77%
4 特別活動等	14	体育祭や文化祭など主体的に取り組める学校行事が充実している。	87%
	15	学校は、部活動が活発で充実している。	92%
5 学校図書館	16	授業、休み時間や放課後などに、図書館を利用した。	43%
	17	学校は、朝読書の実施や図書館だよりの発行により、読書の楽しさや意義を伝える工夫をしている。	82%
6 保健指導	18	悩みや相談ごとに親身になってくれる先生がいる。	77%
	19	私は、学校の保健指導を参考にして、健康管理に気をつけている。	72%
7 人権教育	20	一人ひとりの個性が尊重され、明るく生き生きした学校になっている。	80%
	21	学校は、思いやりや協調性を大事にした指導を行っている。	87%
8 環境教育	22	学校は、ゴミの分別や校内外の美化・環境に配慮した取り組みを行っている。	87%
	23	授業や行事を通じて環境問題について学ぶことができた。	82%
9 事務・管理	24	学校の施設・設備はしっかり管理されていて使い易い。	95%
10 その他	25	学校は、学年通信等を通して、学校の様子や学校行事の予定を伝えている。	96%
	26	「学校の教育活動は、地域の人々に支えられている。」と感じる。	73%

A B C Dの基準は、肯定的な評価が80%以上をA、60%以上80%までをB、40%以上60%までをC、40%未満をDとする。

## 令和4年度 学校評価アンケート（保護者）

1：ほぼ当てはまる 2：やや当てはまる 3：どちらかという当てはまらない  
4：ほとんど当てはまらない

領域	番号	評価項目	1・2の割合
全体に関わって	1	子どもがこの学校に入学して良かった。	93%
	2	学校の教育の特色はよく分かり、教職員も特色ある学校づくりに努めている。	84%
1 学習指導	3	学校では、分かりやすいきめ細かな授業が行われており、生徒の学習意欲を高めている。	79%
	4	学校は、進路実現に向けて実力養成に取り組んでいる。	83%
	5	子どもは家庭でも学習に取り組んでいる。	78%
2 生徒指導	6	学校の生活指導は行き届いており、安心して登校させることができる。	93%
	7	学校は、挨拶など生活マナーを身につける適切な指導をしている。	89%
	8	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	93%
3 進路指導	9	子どもは目標を持って学校生活を送っている。	82%
	10	学校は進路実現に向けた十分な指導と情報提供ができています。	82%
4 特別活動等	11	子どもは、学園祭等の学校行事に主体的に取り組んでいる。	92%
	12	部活動は活発で、子どもたちは意欲的に取り組んでいる。	83%
5 学校図書館	13	学校は、読書の楽しさや意義を伝える工夫をするともに、図書館利用の機会が増えるよう努めている。	65%
6 保健指導	14	学校は子どもの健康管理に注意を払い、けがや病気の時には適切な対応をしている。	92%
	15	学校には子どもや保護者が気軽に相談できる雰囲気がある。	76%
7 人権教育	16	学校の教員は生徒一人ひとりの人権を大切にしている。	87%
	17	子どもにとってクラスが和やかで、居心地がいい場所となっている。	90%
8 環境教育	18	掃除・環境美化が徹底され学校が清潔である。	97%
9 事務・管理	19	学校の教職員は、保護者等の来校や電話に対して、丁寧な対応ができています。	95%
10 その他	20	学校生活について、通信やHP等で必要な情報提供ができています。	79%
	21	学校は保護者や地域に教育活動の情報を発信し、開かれた学校づくりに努めている。	80%

A B C Dの基準は、肯定的な評価が80%以上をA、60%以上80%までをB、40%以上60%までをC、40%未満をDとする。

## 令和4年度学校評価アンケートの分析と次年度に向けての改善策

滋賀県立長浜北高等学校

領域	課題の改善に向けた具体的な取組み
学校経営	県下初のコミュニティ・スクールとして、N-プロジェクトや英語教育の推進など特色ある学校づくりに努め、学校関係者から評価をしていただいている。信頼される学校づくりを推進するため、学年・分掌・教科が連携し進めていく。
学習指導	教員は、「学びの変革」推進プロジェクトにより、ICTの活用や生徒自らが考える授業の実践に努めている。家庭学習の定着に向け、今未来手帳を活用し、生徒が家庭学習の必要性を意識して学習できるよう、教科指導や面談を一層工夫する。
生徒指導	生徒は、基本的な生活習慣やあいさつ等、規律ある生活を送ることができている。引き続き、いじめのない学校づくりや生徒会活動の推進に努める。
進路指導	生徒は、自分さがし体験や高大連携講座等を通じて、希望進路の実現に向け努力している。今後も、細やかな進路情報の提供や生徒が目標に向かうチャレンジ精神の醸成に努める。
特別活動等	生徒は、学校行事や部活動に積極的に取り組んでいる。今後も、学校行事や部活動への主体的な取組みを支援する。
学校図書館	学校図書館の利用や読書指導について、コロナ禍や活字離れの影響が評価に表れた。授業等を通じた読書意欲の喚起に一層努めるとともに、朝読書の取組みや図書館だよりの発行により、読書習慣の定着を図っていく。
保健・安全指導	生徒の健康管理や、病気・けがへの対応は適切に実施できている。今後も、時節にあった健康管理指導を継続するとともに、生徒や保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努めていく。
人権教育	一人ひとりの人権を尊重し、仲間の大切さを実感できる集団づくりを通して、思いやりや協調性を大事にする指導を継続していく。
環境教育	新校舎で教育活動を行って5年が経過する。この恵まれた環境を維持していくために清掃活動をしっかり行っていくとともに、ゴミの削減意識の向上にも努めていく。
事務・管理	施設・設備・備品の点検を行い、適切に管理している。また、個人情報の保管も適切に行うことができている。今後も、施設・設備・備品の点検や個人情報の適切な管理を継続的に行っていく。
その他 学校の取組み	コミュニティ・スクール事業を推進し、自分さがし体験事業やボランティア部の活動を通して、地域と連携した学校づくりに取り組んでいく。また、通信やHPにより、学校の教育活動を積極的に発信していく。